

〔目的〕 下衣への適合を目的とし、腰部形状を分類した。この形状は周径とその前後の長さで求めた7項目の指数値を組み合わせて表現する立体とし、クラスター分析を行った。グレーディングや身長別サイズ規定によってカバーされる大きさや高径は除いた。

〔方法〕 被験者はパターンへつながる体型情報を採取した成人女子300名である。計測値48項目、写真計測および横縦断面図採取150名、クラスター分析を行った指数値は $H/W \cdot M.H / W \cdot M.H / H \cdot F.W / B.W \cdot F.H / B.H \cdot F.M.H / B.M.H \cdot G.H / H$ (Gは外包圍)である。分類された各グループについて各指数値の関係偏差を求めて総合比較をし、計測値間の差を分散分析によって調べた。形状差がスカート・ズボン原型のパターンにどのようにあらわれるかを観察し、これらの体型特徴を表現する変数を主成分分析によって求めた。

〔結果〕 クラスター分析の結果、成人女子の腰部体型は下記のように大きく2つに、さらに5つに分類された。ただし5名のグループは異常値として除外した。各グループの特徴を各種分析結果を用いて報告する。

	H/W.	ヤング	MH/W.	出現率%			計測値(平均)による特徴(cm)					
				n数	青	中	老	W.	FMH.	BMH.	FH.	BH.
成人女子 n=300	くびれ型 (1.35~1.39)	アベレージ型	(1.24)	70	84.3	11.4	4.3	64.6	<u>39.2</u>	40.6	43.0	<u>46.8</u>
		ハート型	(1.28)	64	23.4	54.7	21.9	66.4	42.6	<u>42.2</u>	43.1	46.5
		ダイヤモンド型	(1.22)	51	60.8	39.2	0	65.5	42.6	<u>37.4</u>	<u>45.9</u>	44.3
	ずんどう型 (1.16~1.23)	スクエア型	(1.20)	58	0	43.1	56.9	73.3	<u>44.1</u>	<u>44.1</u>	<u>44.9</u>	<u>45.1</u>
		ピーマン型	(1.16)	52	0	26.9	73.1	80.8	<u>48.2</u>	45.9	46.1	47.1